

茶道部同好会 活動報告

「甲南大学国際学会お茶席」

令和元年8月28日(水)、東灘区の甲南大学でラビリンチュラ国際学会が開かれ、会議に出席される方に抹茶を提供するボランティアを行いました。(ラビリンチュラとはアメーバ様原生生物の1種)

場所は大学キャンパスに隣接した iCommons という近代的な建物の4階にある茶室。会議が始まるひと時に日本の伝統文化である茶道を体験してもらおうという企画です。

グループにより依頼があった時、茶道部同好会として国際会議のボランティアは初めての経験であり戸惑いがありましたが、場所の下見や先方との打合せを行い、お請けしました。

外国人のお客さんを念頭に、お点前を見てもらい、作法に則ってお菓子と薄茶を召し上がっていただくというシナリオを作成し、ボランティア参加者7名の役割分担も詳細に決めました。当日は秋雨前線の影響で蒸し暑い日でしたが、女性5名は和服を着て、文字通り汗だくで奮闘しました。

お客さんは23名の方が来られ、半数以上が外国人でした。その方々は勿論、ほとんどがお茶席は初めてであり、正座に苦労されていましたが、茶道の文化に触れられ、フォーマルな中にもカジュアルな雰囲気、おいしいお菓子と1服の抹茶でくつろいでおられました。

我々も今までと違った経験ができ、疲れの中にも楽しいひと時でした。



外国人のお客さんと記念撮影



ボランティア参加者